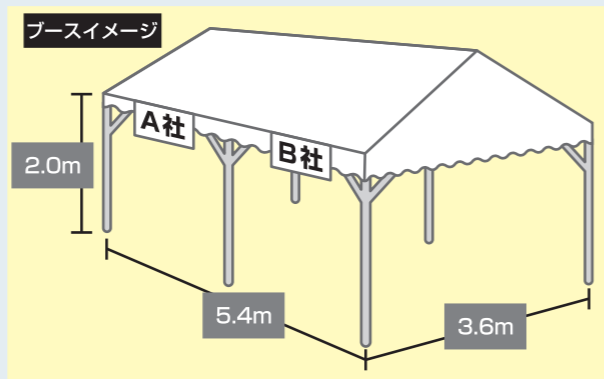


＊ 出展ブース [基本仕様]

◎小間割り区分

ブース展開は、希望協賛を下記の通り。

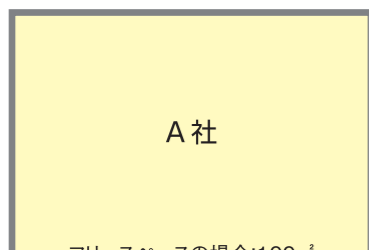
- ①特別協賛A ……4小間
- ②特別協賛B ……2小間
- ③特別協賛C ……1小間
- ④ブース協賛 ……1小間
- ⑤トライアル協賛 ……1小間



<レイアウトイメージ> ※1小間=テント1/4(W2,700mm×D1,800mm)

①特別協賛A

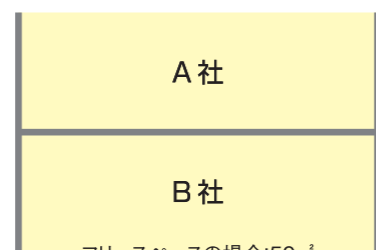
W5,400mm×D3,600mm



フリースペースの場合:100㎡

②特別協賛B

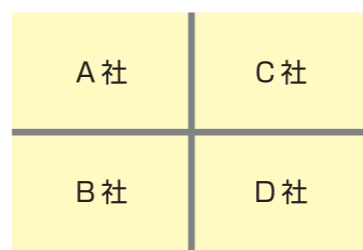
W5,400mm×D1,800mm



フリースペースの場合:50㎡

③特別協賛C/④ブース協賛/  
⑤トライアル協賛

W2,700mm×D1,800mm



◎付帯設備 (1小間あたり:予定)

- ・テント横幕
- ・ブース仕切幕
- ・ブース看板(パラペット)
- ・テーブル1台(W1,800mm×D450mm)
- ・パイプ椅子2脚

※上記付帯設備以外のモニターセット、カタログスタンドなど、事務局手配希望品品に関しては有料となります。後日詳細をご連絡いたします。  
※会場の規定により、ブース看板にロゴマークは使用できません。企業ロゴなどを使用の場合は、事務局にて確認させていただきます。  
その他、ロゴを使用しない場合は、スミのゴシック体で制作いたします。

＊ 制作物一覧



■告知用

\*ポスター  
A3×10,000部



\*チラシ(A4両面)  
100,000部



■会場記布用

\*プログラム  
(A3ニツ折り)  
7,000部



\*小冊子(A4)  
7,000部

■会場設置用 ほか



\*スタッフ  
ユニフォーム

\*のぼり  
(W600mm×H1,800mm)  
50本



<事業概要>

平成26年2月

## \* 2014動物感謝デー in JAPAN開催にあたって

東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故では、動物たちにも大きな被害をもたらされ、あらためて人々の暮らしのすぐそばにいたたくさんの動物たちに関心が寄せられました。日本獣医師会は、動物と人との関係にあらためて社会の関心が高まる中、動物と人が共存して生きる社会の大切さについて広く普及するため、別添「開催趣意書」のとおり本年も市民参加イベント「2014動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"」を10月4日（土）に東京都立駒沢オリンピック公園中央広場において開催することといたしました。今年で7回目となる本行事は、動物医療・動物飼育の果たすべき社会的役割と獣医師が多様な職域において活躍していることに対する理解を深めつつ、人と動物が共存する豊かな社会の構築と、動物を取り巻くより良い環境の実現を目指し、動物医薬品業界やペットフード業界等の動物関連産業界をはじめ、獣医学系大学、獣医療関係団体、畜産関連団体、動物愛護団体等の関係団体が一堂に会して開催されるものであり、関係する様々な分野で活躍する企業・団体等が互いにその活動を紹介しながら市民向けに広報する場として、今後も継続してまいりたいと考えております。獣医師の役割と責務に関する市民向けの広報を目的に世界獣医学協会（WVA）が提唱するイベント（World Veterinary Day）を、WVA加盟団体である日本獣医師会が協賛して開催するという趣旨を併せ持つ国際的な事業でもある本イベントの趣旨をご理解いただき、多くの皆様にご協賛・ご協力をいただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成26年2月 2014動物感謝デー in JAPAN実行委員会  
委員長 藏内勇夫（公益社団法人日本獣医師会会長）

## \* 開催概要

- 名 称 2014 動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"
- 開催目的 獣医師、獣医療の果たすべき社会的役割とともに、動物の社会参加の促進のための動物の福祉と愛護精神の高揚を図り、また、広く一般市民に普及・啓発することにより、獣医師並びに動物の福祉及び適正飼養に関する施策推進を通じ、人と動物が共存する豊かで健全な社会の形成に寄与することを目的とする。
- テーマ 『「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」』
- 日時 平成26年10月4日（土） 10:00～17:00
- 場所 東京都立駒沢オリンピック公園 中央広場
- 主な開催内容 協賛・後援企業・団体・獣医学系大学等によるステージ企画及びブース展示・物品頒布企画、動物ふれあいコーナー（家庭動物・家畜とのふれあいと獣医師によるふれあい指導）、はたらく動物たち（補助犬、災害救助犬、警察犬等）のデモンストレーション、一日獣医師体験講座、獣医師の役割紹介、動物にまつわる有名人トークショー、獣医学学生コーナー、獣医師による家庭動物の飼育相談、地方獣医師会による展示（動物医療関係展示、動物飼育関係展示、動物愛護関係展示、安全で質の高い畜産物の生産に係る展示）等
- 来場者数 約30,000名  
（一昨年実績）  
一般市民、児童・生徒・学生、獣医療関係者、獣医学系大学学生、動物看護職従事者、動物看護職養成課程在籍学生、家庭動物関連業界関係者 等
- 主催 公益社団法人 日本獣医師会
- 後援 農林水産省／環境省／厚生労働省／文部科学省／外務省／国土交通省観光庁／内閣府食品安全委員会／東京都／世田谷区／目黒区／公益社団法人日本獣医学協会／公益社団法人日本動物病院福祉協会／一般社団法人日本動物看護職協会／World Veterinary Association／ヒトと動物の関係学会／AIPO（動物ID普及推進会議）
- 特別協賛 共立製薬株式会社／日本全業工業株式会社／ロイヤルカナン ジャポン合同会社／メリアル・ジャパン株式会社／日本ヒルズ・コルゲート株式会社／DSファーマアニマルヘルス株式会社／トヨタ自動車株式会社／日清ペットフード株式会社／株式会社ペットオフィス
- 協力 日本中央競馬会／公益社団法人全国農業共済協会／公益社団法人中央畜産会／公益財団法人日本食肉消費総合センター／公益社団法人日本装蹄協会の会／公益社団法人Knots／社団法人東京都家庭動物愛護協会／一般社団法人ジャパンケネルクラブ／一般社団法人全国ペット協会／一般社団法人どうぶつ家族の会／一般社団法人日本小動物獣医師会／一般社団法人ペットフード協会／特定非営利活動法人聴導犬普及協会／特定非営利活動法人日本ペットドッグトレーナーズ協会／特定非営利活動法人ワンワンパーティークラブ／狂犬病臨床研究会／緊急災害時動物救援本部／農場管理獣医師協会／農場どないすねん研究会（NDK）／放鷹義塾／日本獣医学学生協会／北海道大学／帯広畜産大学／岩手大学／東京大学／東京農工大学／岐阜大学／鳥取大学／山口大学／宮崎大学／鹿児島大学／大阪府立大学／酪農学園大学／北里大学／日本獣医生命科学大学／日本大学／麻布大学／学校法人シモゾノ学園 国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校／学校法人ヤマザキ学園 ヤマザキ学園大学／東京都立園芸高等学校／全国55都道府県市獣医師会

## \* 実施会場



## \* 協賛区分及び内容

協賛タイプ	協賛金額	ブースプラン	ポスター	チラシ	プログラム	ウェブサイト	イベントロゴ使用	ステージ	サンプリング
特別協賛 A	¥3,000,000 (協賛特典*参照)	4小間(1張) フリースペース:9小間(9m×9m)	10,000部 首都圏を中心に 全国に配布	100,000部 首都圏を中心に 全国に配布	7,000部 当日配布	7月公開 予定	7月～	1回 当日	～5,000部 当日 会場配付
特別協賛 B	¥1,500,000	2小間(1/2張) フリースペース:4小間(6m×6m)	—	社名	1/2P	社名	○	10分	○
特別協賛 C	¥500,000	1小間(1/4張) 1.8m×2.7m	—	社名	1/4P	社名	○	5分	○
ブース協賛	¥300,000	1小間(1/4張) 1.8m×2.7m	—	社名	—	社名	—	—	—
トライアル協賛 (初回のみ)	¥150,000	1小間(1/4張) 1.8m×2.7m	—	社名	—	—	—	—	—
プログラム協賛	¥100,000	—	—	—	社名	—	—	—	—
サンプリング協賛	¥50,000	—	—	—	—	—	—	—	○

### 【物販に関して】

ブース内物販は事前申請のあるものに限り許可します。また、物販の一切に関する事項に関して、主催者側は責任を負いません。

### 【試飲・試食に関して】

会場内での飲食物の提供は、運営事務局に事前申請のあるものに限り許可します。

### 【出展に関して】

#### ◎出展申請

各出展者の出展内容に関しては、必ず事前にお申し出ください。  
※本イベントの趣旨から外れると判断される場合、出展内容を変更・縮小させていただく場合がございます。

#### ◎ブースPR

各出展ブースにおける企業ロゴマークの提出は不可とさせていただきます。また、出展テント外での過度な広告宣伝活動も同様に、禁止行為とさせていただきます。

#### ◎サンプリング

チラシ、リーフレット、ノベルティなどの配布は許可します。但し、事務局側でゴミになると判断した場合等は、開催中でもサンプリングを中止させていただきます。